



3年生ありがとう

右の欄にもありますが、全校が関わる二大行事が終了しました。いずれの日も天候に恵まれ大成功といえる両日でしたので、書くネタは豊富にあるのですが、どんなタイトルにしようか大いに悩みました。「感動の二大行事大成功」「涙腺崩壊の10月」「涙声での講評」などなど…

導き出した答えは表題のとおりです。やっぱり引っ張ってくれた3年生への感謝の意を込めて綴ってみることにしました、なんだか卒業式直前みたいですけど。

二大行事、全員本当によく頑張りました。その先頭に立ってくれたのは常に3年生でした。あれほど完成度の高い体育大会を、生徒主体で練習段階から創りあげていくのは、並大抵のことではありません。実行委員や団長副団長、リーダーの努力とプレッシャーも相当なものだったと思います。

文化発表会においても4クラスとも見事に学級の歌として想いの伝わる合唱に仕上げ、歌い上げてくれました。合唱のみならず、意見発表、英語弁論に始まり、実行委員長の講評に至るまで、見事な「文化の質」を披露できたのは、ひとえに3年生のおかげです。

一般的に、3年生の一挙手一投足は、その学校の姿に直結します。下級生が多少頼りなく見えたとしても、最高学年がしっかりしていればカバーやフォローができるものです。

本校に当てはめれば、下級生もよく頑張りましたが、3年生は常にその先にいました。その姿が憧れとなり、文化となり、伝統といえるものになっていくのだと思います。昨年度も非常に素晴らしい3年生だったという声をよく聞きますが、確実に、吾田プライド、吾田ブランドとしてのバトンをつないでくれました。改めまして、3年生ありがとう。

<体育大会>

10月1日(日)

9月後半になっても残暑が厳しく、暑さ指数計を見ながら生徒の体調を気にかける毎日の練習でした。そのような中でも生徒たちは「昨年を超える体育大会」を合い言葉に、3年生を中心に生徒の手で創り上げた素晴らしい体育大会でした。



<文化発表会>

10月25日(水)

今年の文化発表会は、コロナ禍以前のように観覧者の制限をせずに開催することができました。平日にもかかわらずたくさんの保護者の方々が観覧され、生徒たちの励みになりました。来賓の方々から国語・英語暗唱弁論、合唱コンクール、総合学習・吹奏楽の発表、さらに展示の部門の全て質が高く感動したとお褒めの言葉をいただきました。体育大会・文化発表会の取り組みから得た大事な宝物を、これからの学校生活に生かしていきます。



<新生徒会役員>

10月26日(木)

3年生中心とする旧生徒会役員の皆さんはこれまでの学校行事をすべて成功させてくれました。特に体育大会・文化発表会での活躍は素晴らしいものでした。ありがとうございます。この先輩の後ろ姿を見て学んだ2年生を中心とする新生徒会役員の皆さんの今後の活躍に期待しています。

